

但馬・大蔵じろはったんウォーク

恒例の大蔵じろはったんウォークを、今年は朝来市の後援のもと都市部の方々にも呼びかけて盛大に行う予定をしています。

- 開催日時 5月20日(日)午前9時45分開会式、10時スタート
- 集合場所 大蔵市民会館前
- コース 「じろはったんの里」大蔵地区を巡るコース(10km未満) 詳細未定
- 定員 先着200名
- 参加料 200円(保険料含む)



わがむら紹介 宮内

歴史を育む村「みやうち」 宮内区長 古澤宏三

国道9号線を北へ...あと数百メートルで養父市になるという朝来市のはずれ、国道を進むと「丸山」という「謎の古墳」に出合う。その「丸山」の裏側に山々に囲まれた小さな「イサワ谷」があり、そこに宮内という人口約百二十名、戸数四十足らずの小さな集落が、ひっそりと隠れるように存在する。

宮内と呼ぶように集落は盈岡神社の中に有り、その旧県社である神社は杉檜に囲まれた森の中に神秘的なたたずまいで、千五百年以上の歴史を今もなお私たちに感じさせてくれます。

古くより、秋の祭りには馬が走り相撲を取り村芝居等も行われ、にぎやかであったが、今では唯一1月18日の厄神祭にそのにぎやかさの面影を残しています。

また、宮内は集落を囲むように古墳が多く存在し、昨年末文化財センターでの「宮内中山6号墳」の出土物の展示は記憶に新しいが、南にこの中山古墳群、中央にはイサワ古墳群、梅ヶ迫古墳群、北には西垣古墳群、亀ヶ鼻古墳群と五十以上もの古墳が点在すると言われており、6世紀頃には「王家の谷」として豪族の拠点であったのではないかと考えられています。

神社に守られ、古墳に守られているのだろうか。宮内には昔から災害等も少なく広くはないが農耕に適した豊かな土地であり、一昔前には和田山の「軽井沢」とよばれていたとか？今は住民の65才以上の比率が大蔵地区1位の39.3%、考えようでは長寿の里とも言えるのですが、今後は年寄りが安心して暮らせる又、子供達が健やかに育つ村づくりを古き歴史や文化を大切にしながら進めてゆきたいと思っています。

大蔵地区のみなさん！一度整備されて登りやすくなった「丸山古墳」に立ち寄ってみてください。



大蔵地区内の各区の歴史や現況などを各区长さんが紹介するコーナーです。今回は宮内区を取り上げました。



▲ 謎の古墳「丸山」

お知らせコーナー

「スポーツクラブ21おおくら」についてのお知らせ

「スポーツクラブ21おおくら」の事務局が、大蔵地域自治協議会内へ移転となりました。今後のお問い合わせ、入会申し込み等は、自治協事務局(672-5651)までお願いいたします。

- ◇開設講座 少年野球、サッカー、婦人バレー、ソフトバレー 他
- ◇会費 入会金 500円
個人会費 1,000円/年(中学生以下、60歳以上、身体障害者の方は500円)
保険料 大人1,850円 中学生以下800円(24年度より金額改定)

自治協議会のホームページを開設しました。

大蔵地域自治協議会では、下記のURLアドレスにてホームページを公開いたしました。自治協議会の概要をはじめ、過去の行事の様子、これからの情報など幅広く紹介する内容となっております。自治協議会の活動や情報を積極的に公開していきますので、是非ご覧ください。
<http://asago-net.jp/users/ookura-jichikyo/>



大蔵だより

- 発行日：平成24年3月5日
- 発行：大蔵地域自治協議会 広報委員会
- 住所：朝来市和田山町宮田186番地3 大蔵市民会館 TEL 079-672-5651(ファックス兼用)

「池田古墳を活かした地域づくりシンポジウム」を開催

平成23年11月25日、池田古墳が朝来市指定文化財に指定されたことを受け、地元大蔵のひとこそ、池田古墳についての関心と興味、知識を深めるべきとの考えにより、池田古墳の発掘にかかわった専門家の2人を招き、1月22日に大蔵地区市民会館で、講演とシンポジウムを開催しました。

当日は、開会前から続々と地元の人達が詰めかけ、80人を超える人で会場は満席となりました。そして講演とシンポジウムが終了するまでの約4時間、参加者は熱心に、充実した時間を過ごしました。

講演は、「池田古墳の発掘調査から見えてきたもの」と題し兵庫県立考古博物館の山田清朝氏が、そして



「池田古墳と但馬の王墓」と題して京都府立大学の菱田哲郎氏が解りやすく解説され、参加者一同、池田古墳の、日本歴史上からも重要視されるその内容に熱心に聞き入りました。

シンポジウムでは、さらに、淡路市の五斗長(ごっさ)まちづくり協議会の高田一民氏と、市教育委員会の田畑基氏が加わり、参加者から質問される池田古墳にまつわる様々な

疑問や問題に、それぞれの立場から、活発な意見が交わされました。

この日の講演とシンポジウムの内容は、後日、貴重な資料集として冊子にまとめる予定です。

被災地から礼状が届いています。

昨年4月20日大蔵自治協議会及び大蔵ふるさとネットワークから、じろはったん米600kgと児童用図書1000冊の宮城県山元町への被災地支援に対し、宮城県山元町立山下第二小学校の渡辺校長先生より、礼状に児童の写真を添えて自治協議会あてに届けられました。

みなさんご支援
ありがとうございました!



宮城県山元町立 山下第二小学校